



ものの一生について考えてみよう。 たとえば、その時計はいつまで使える？

ものが作られ、使われてごみになるまでの流れを理解し
そこで発生するエネルギーが地球におよぼす影響を考える。
「ものを大事に長く使うこと」の大切さについて学ぶ。

目次

p01	学習の概要
p02	指導プログラム例
p03	ウェビング
p05	ワークシート ①
p06	ワークシート ②
p07	参考資料

学習指導要領の 関連項目

小4社会

「地域の人々の
生活」

小5社会

「私たちの生活と
工業生産」

小5・6家庭

「環境に配慮した
生活の工夫」

小6社会

「日本の文化」

中学 家庭

「家族と家庭生活」

中3公民

「現代社会と
私たちの生活」

高校 家庭基礎、 総合

「環境に調和した
生活の工夫」

高校 現代社会、 政治・経済

「公害の防止と
環境保全」

ものが作られ、ごみになるまでの
流れの中で費やされるエネルギーと
地球温暖化との関係を理解する。

学習のねらい

生活で使う「もの」に注目して、自分たちはどんなものを使っているか、持っているかを改めてふりかえる。そして、それらのものが生産から使用、廃棄という一連のサイクルを持ち、それぞれにエネルギーがかかっていること、そのサイクルが長いもの、短いものがあることを調べていく。そこから、ものを使うこととCO₂の発生が関係することを理解し、ものを手入れしながら長く使うことを先人から学び、くらしに活かすことにつなげる。

目 標

- ものには生産から廃棄までのサイクルの長いもの、短いものがあることを知る。
- それぞれのものには生産時、輸送時、廃棄時にも多くのエネルギーがかかっていることを知る。
- 生活の中で何をどのように使うかで、CO₂抑制につながることを理解し、行動につなげる。

関連用語

生活用品、ライフサイクルアセスメント、製造時のエネルギー、輸送時のエネルギー、ごみ処理時のエネルギー、グリーンコンシューマー、環境配慮型商品、3R、道具の手入れ、フリーマーケット

対 象

小学校4年～高校

学習指導要領
との関連

小学校4年生 社会科

- 地域の人々の生活（小道具）

小学校5年生 社会科

- 私たちの生活と工業生産（自動車をつくる工業）

小学校5・6年生 家庭科

- 環境に配慮した生活の工夫

小学校6年生 社会科

- 日本の文化（江戸のリサイクル）

中学校 家庭科

- 家族と家庭生活（グリーンコンシューマー）

中学校3年生 公民

- 現代社会と私たちの生活（流通）

高校 家庭基礎、総合

- 環境に調和した生活の工夫

高校 現代社会、政治・経済

- 公害の防止と環境保全

長く使えるものと、そうでないもの、
それぞれの役割や特徴を考えながら
地球環境への負担度を調べる。

学習の流れ

STEP1

長く使っているものの調べ

実際に家で使っているものの中から、長く使っているものと短時間しか使わないものを調査。使用年数や工夫、理由などを調べて発表する。

ワークシート①

STEP2

ものの使用年数

ペットボトルやレジ袋など使用時間が短いものから、携帯電話や家電製品、自動車、家などのものの使用年数に注目して、代表的な道具やものがどれだけの時間有効に使われているか調べ、比較する。

STEP3

ものができるまで

ものができまでの経過を、どこでどのようなエネルギーが使われてきたかの視点で追う。事例としては、ペットボトルやアルミ缶、ガラスびんなど、素材がシンプルで、製造・輸送過程がわかりやすいものを取り上げるとよい。

STEP4

「職人に学ぶ～長く使えるものとのつきあい方」

職人さんが使う道具や、繰り返し使われてきたものを取り上げ、手入れの仕方、気にいっているところなどを取材する。ものを長く使うこと、繰り返し使うことからごみを減らし、エネルギーも効率的であることを知る。

ワークシート②

発展

バザーやフリーマーケットをのぞいてみよう

地域や学校で開催されているバザーやフリーマーケットに行ってみよう。どんなものが売られているか、捨てられずだれかの必要なものになり使われることについて考えてみよう。

児童・生徒の思考過程

学習への関心・意欲

自分たちの家庭でどのようなものを使っているか着目し、その中でも長く大事に使われているものを探す。

知識・理解

普段使っているものには、使用年数の長いものや短いものがあることに気づき、自分たちの使い方、直し方によってもそれらの長さが変わっていくことを知る。ものは、できるまでにも多くのエネルギーがかかり、それをごみとして処理する際にもさらに多くのエネルギーがかかることを理解する。

思考

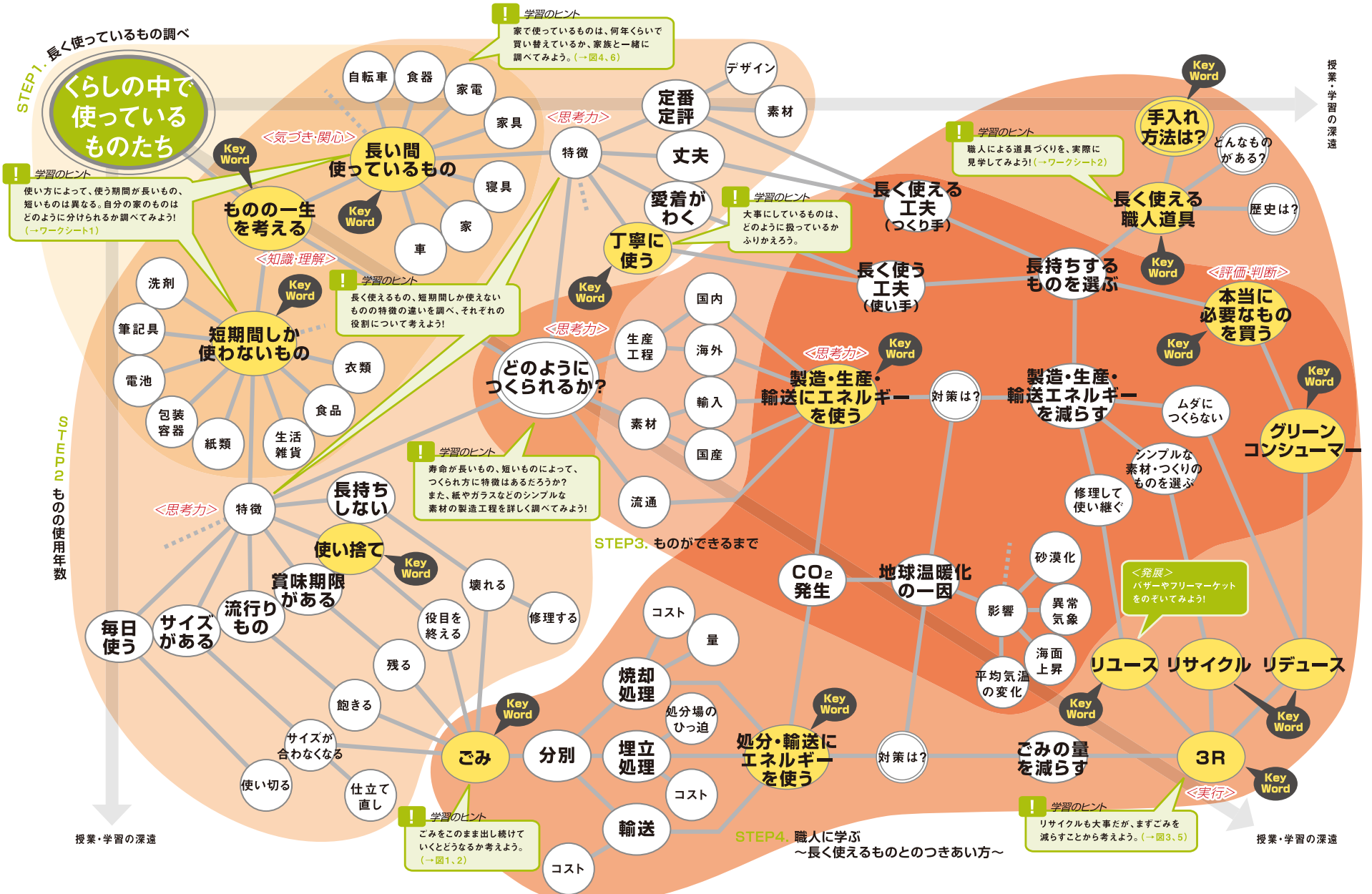
使用年数の短いものが増えればごみとして排出される量も増える。使い方によってものを長く使うこともできる。自分たちがどのようにものを使っていくことがよいか考える。

評価・判断

意識せずに短い使用年数で捨てていたものを見直し、自分たちが日常で何を買ひ、どのように使い、どのように捨てているかを認識できるようにする。

日常生活での実行

ものを長く大事に使う工夫や、ごみを減らす生活の工夫を取り入れる。



ものの寿命

名前：

家でふだんから使っているものを調べてみよう

●長く使っているもの

もの	使用年数(3年以上)	長く使う工夫

●短時間で捨ててしまうもの

もの	使用期間(1ヶ月未満)	短い理由

プロに学ぶ道具づかい

名前：

職人さんの道具を見せてもらおう！

写真

●プロの仕事は？

●道具の名前は？

●使い方

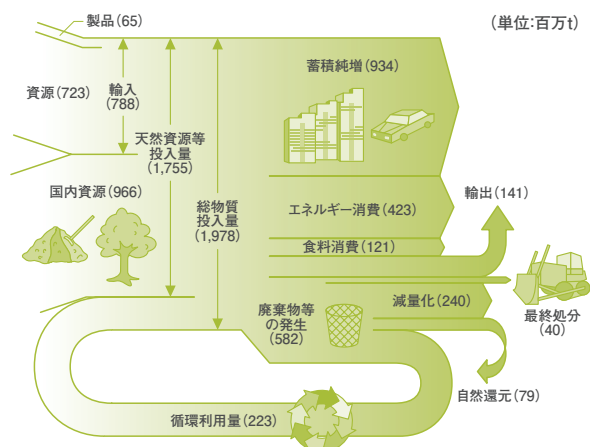
●使用年数

●手入れのしかた

●気に入っているところ

●調べた感想

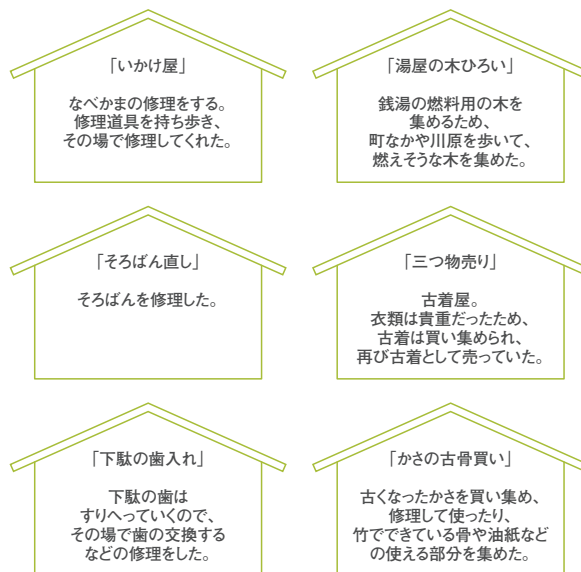
■我が国における物質フロー（平成15年度）



注）産出側の総量は、水分の取込み等があるため総物質投入量より大きくなる。

（出典：環境省）

■江戸のリサイクル

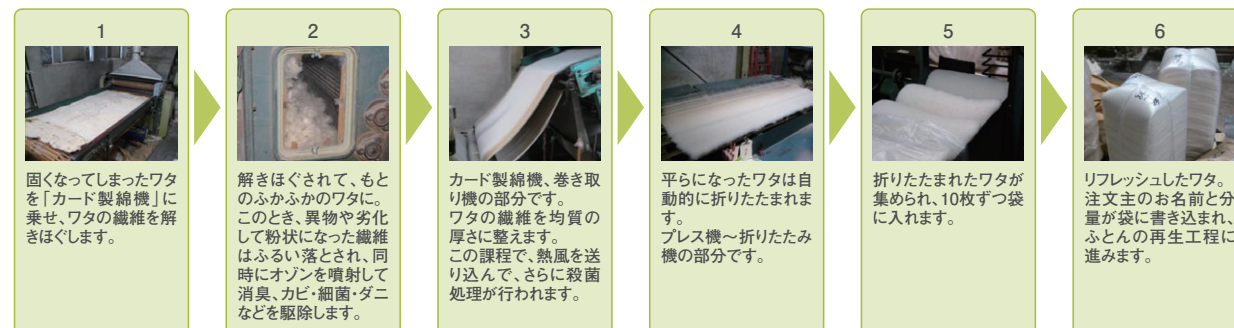


（出展：石川英輔著「大江戸リサイクル事情」（環境goo WEB講義）

■布団リサイクル

綿の「打ち直し」の工程

長く使って硬くなってしまった綿を、いくつかの工程を減てやわらかくします。
布団は、中の綿を打ち直して仕立て直すことによって、新品同様に生まれ変わります。
布団をリサイクルすることにより、ごみを減らすだけではなく、綿を資源として再利用し、長期間使うことができます。



（出典：ふとんリサイクル推進協議会）

■関連するホームページ

- 環境省
- 平成18年版「循環型社会白書」
- ECO学習ライブラリー
- チーム・マイナス6%
- 経済産業省「3R」
- 京都市公開Webサイト
- (財)日本環境衛生センター
- ふとんリサイクル推進協議会
- 環境goo

<http://www.env.go.jp/>
<http://www.env.go.jp/policy/hakusyo/junkan/h18/>
<http://www.eeel.jp/>
<http://www.team-6.jp/>
<http://www.meti.go.jp/policy/recycle/>
<http://www.city.kyoto.jp/koho/>
<http://www.jesc.or.jp/>
<http://www.ecofuton.com/re/>
<http://eco.goo.ne.jp/>

企画：環境省地球環境局

編集：全国地球温暖化防止活動推進センター（JCCCA）

〒106-0041 東京都港区麻布台1-11-9 ダヴィンチ神谷町（財）日本環境協会内 TEL: 03-5114-1281 FAX: 03-5114-1283 <http://www.jccca.org/>

- データは、JCCCAホームページからもダウンロードでき、活用いただけます。また、環境学習プログラムを活用した授業例も紹介しています。
- 商業目的の使用はご遠慮ください。
- 本プログラムを使用・引用する際は、出典：環境省「地球温暖化防止のための環境学習プログラム」のように明記してください。



エコマーク認定の紙と
インクを使用しています。
エコマークは（財）日本環
境協会の登録商標です。

（2007年1月）